

# 木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

## 木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年10月分)

1. 調査実施期間 平成23年 9月20日 ~10月10日

## 2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

10月分の回答企業数は38社、回収率90.5%である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

## (1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/10月	11月	12月
仕入動向	国産材	-12.1	-8.6	-12.1
	外材	-1.4	-11.1	-13.9
販売動向	国産材	-12.1	-6.9	-13.8
	外材	-6.9	-4.2	-9.7
在庫動向	国産材	-12.5	-8.9	-12.5
	外材	-9.7	-16.7	-18.1

仕入れは国産材、外材ともマイナス基調、外材は暮れに向けマイナス幅拡大。  
販売も国産材、外材ともマイナス基調で暮れに向けマイナス幅拡大。  
在庫は、国産材、外材ともマイナス幅を拡大ないし維持。

## (2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/10月	11月	12月
スギ正角(グリーン)	0.0	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-4.8	2.4	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-7.9	-2.6	2.6
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	-5.3	-2.6	0.0
米マツ平角	2.9	0.0	0.0
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-2.6	-2.6	0.0
ホワイトウッド集成管柱	-19.4	-5.6	-8.3
レッドウッド集成平角	-13.3	0.0	-3.3
型枠合板(国産)	-39.5	-10.5	-7.9
型枠合板(輸入)	-25.0	-8.3	-5.6
針葉樹合板	-12.5	-3.1	0.0

スギ正角(グリーン、KD)は弱保合いないし保合い、ヒノキ正角、土台は保合い。  
米ツガ正角(現地挽)、土台角、割物はやや弱含みないし横ばい。  
米マツ平角はやや強保合いないし横ばい。  
北洋アカマツタルキは、弱保合いないし横ばい。  
WW集成管柱、RW集成平角とも弱含みだが、暮れに向けマイナス幅縮小。  
合板は、針葉樹、型枠も国産、輸入ともマイナス基調、暮れに向けマイナス幅縮小。

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>カナダ材は中国の旺盛な買いに日本のお出幕なし。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太は、米材9月積み値は中国の積極的な買いを受けて若干上げた模様、カナダ材はオールドの良材減が続き、下げ気配なし。白系丸太は、アラスカ材の不足から中国がカナダ材を高値で買い続けており、年内はこの勢いが止まらない。(東京:米材問屋)外材、内地材とも相場弱含みのため当用買いで様子を見る。(東京:外材問屋)現状は当用買いに絞っている。(東京:外材問屋)輸入品の入荷順調、仕入れ横這い。(東海:外材問屋)</p> <p>ラワン類の現地価格は強含み、中国材は原木の出材があり、価格は弱保合い。(東京:南洋・中国材問屋)産地は、中国等の買い付けが増した為に強含み、日本向け製品の生産中止を考えている工場が増えている。(東京:南洋・中国材問屋)多少入荷の予定ができてきた。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>産地丸太高、製品安。丸太生産減高止まり。生産量も減。(東京:国産材問屋)役物動き悪く、仕入れ控えている。(東京:国産材問屋)台風のため9月は入荷半減。(東京:国産材問屋)新材が出てくるので仕入れは増す。(東京:国産材問屋)大雨・台風で林道が使えなくなり3~4箇月原木入荷が難しい状況が続くと予想。(東京:国産材問屋)前月と変わらず。(東京:仲買・小売)</p>
販売動向	<p>小口の引き合いは多い、徹底した当用買いの動きは変わらず。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太は京浜マーケットでは製材メーカーに秋需の気配全く感じられず、特殊サイズ注文材の見積もりも減少していることから問屋の手持ち在庫商いも進んでいない。(東京:米材問屋)</p> <p>8月、9月と好調。10月は多少落ちるか。東北は好調。(東京:外材問屋)相場は弱い。(東京:外材問屋)忙しいのはプレカットだけ。(東海:外材問屋)流通関係余り良くないが、ほぼ横這い。(東海:外材問屋)</p> <p>リフォーム関係の受注が増えているが価格面で厳しい。秋需との感はない。(東京:南洋・中国材問屋)材があれば売れるが、先行きラワン離れが起きそう。(東京:南洋・中国材問屋)ラワン類の在庫無く、入荷後は即完売。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>荷動き有るも続かない国産材。外材B品に動き。(東京:国産材問屋)造作材にやや動きが出てきたが、無地材は売れにくい。(東京:国産材問屋)注文材の動きは良い。(東京:国産材問屋)9月は思ったほど良くなかった。(東京:国産材問屋)</p> <p>大きな現場が重なり、構造材が動き荷動き好調。(東京:仲買・小売)まとまった仕事が少なく売り上げが落ちている。(東京:仲買・小売)震災の影響、その関連の仕事全く無くなり、後は契機次第。(東京:仲買・小売)個人マンション物件、リフォーム物件に動き。(東京:仲買・小売)プレカット工場はまだ忙しいようだが、一般販売店には変化なし。(大阪:仲買小売)10月はプレカットで少し忙しくなりそう。(大阪:仲買・小売)。</p>
在庫動向	<p>まとまった入荷がなく、在庫の食いつぶし状態が暫く続く見込み。(東京:米材問屋)米マツ一般材丸太の京浜港入荷は今月なかったものの、問屋の手持ち在庫は大幅に減少とまではなっていない。S.P丸太は手持ち在庫もなく、今月も丸太不足は解消されていない。(東京:米材問屋)在庫は抑え気味でいきたい。(東京:外材問屋)入荷順調で、在庫やや増。(東海:外材問屋)</p> <p>アカマツFJLの在庫は増えている。(東京:南洋・中国材問屋)少量ながら入荷はあるが、相変わらず無いものは無いままの状況。(東京:南洋・中国材問屋)ソコ物だけ残る。(東京:南洋・中国材問屋)</p> <p>先行不安、先安感大、在庫手当不振。(東京:国産材問屋)</p> <p>林場のキャパに限度があり総量は変わらないが以前に比べ在庫が少量多品種になっている。(東京:仲買・小売)前月と変わらず。(東京:仲買・小売)在庫は横這い。(東京:仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>スギKD材先安感強い、生産量減少。(東京:国産材問屋)スギKD材柱は、引き合い増えている。(東京:国産材問屋)弱含みだったスギ角も、台風の影響で生産量減少のため、底入れムード。(東京:国産材問屋)相場は弱含みで推移。(東京:仲買・小売)</p> <p>価格は安定。(大阪:仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>変化なし。(東海:外材問屋)ヒノキ材相場感希薄、その場価格。(東京:国産材問屋)価格は安定。(大阪:仲買・小売)</p>
米ツガ	<p>変化なし。(東海:外材問屋)</p> <p>内地挽3mに良材少ない。(東京:仲買・小売)小割物はやや値下がり。(大阪:仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>変化なし。(東海:外材問屋)</p>
北洋アカマツ タルキ	<p>横這い。(東海:外材問屋)</p> <p>新興メーカーが弱い。(東京:仲買・小売)価格は安定。(大阪:仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>先物がやや下落傾向で国内産も少しづつ下がっている。国産柱1,680円/本、国産平角54,000円/m<sup>3</sup>。(東海:外材問屋)円高で相場は弱い。10月が底値か。(東京:外材問屋)まとまった動きまるでなし。(東京:集成材問屋)WWはやや値下がり。(大阪:仲買・小売)</p>
合板	<p>入荷順調、価格横ばい。(東海:外材問屋)輸入合板は現地価格も下落とのこと。(東京:仲買・小売)ラワン輸入合板は針葉樹合板との価格差が50円~100円まで下がり落ち着くと予想。(東京:仲買・小売)1箇月位は価格調整期間と考える。(東京:仲買・小売)値段は先月よりも更に弱く、下落の場面が有るのではないかと。(東京:仲買・小売)</p>